



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2019



2019 - 20 会長主題

もっと地元を身近に感じようぜ！

| | | |
|------------|-------------------------|--|
| あずさ部長 | 赤羽美栄子(松本) | 「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」 |
| 東日本区理事 | 山田敏明(十勝) | 「勇気ある変革、愛ある行動！」 |
| アジア太平洋地域会長 | 田中博之(東京多摩みなみ) | “ Action! ” 「アクション！」 |
| 国際会長 | Jennifer Jones(オーストラリア) | “ Building today for a better tomorrow ” 「より良い明日のために今日を築く」 |

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠・金本伸二郎
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2019年9月例会

<ユースの月>

とき 9月17日(火) 15:30-17:30
ところ 山手センター 101号室

| | |
|-------------------------------------|----------------|
| 受付 | 飯島愛子さん、飯野さん |
| 司会 | 尾内さん |
| 開会点鐘 | 会長 |
| モットー・ワイズソング | 一同 |
| 聖句朗読・祈祷 | 尾内さん |
| ゲスト・ビジター紹介 | 会長 |
| ハッピーバースデー | |
| 卓話「地域における多文化共生を考える ～さいたま市の実践から～」 | 利根川恵子さん(川越クラブ) |
| ニコニコ | 一同 |
| 報告・連絡事項 | 各担当 |
| 閉会点鐘 | 会長 |

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

今月の聖句

あなたがたがわたしを選んだのではない。
わたしがあなたがたを選んだ。あなたがた
が出かけて行って実を結び、その実が残る
ようにと、また、わたしの名によって父に
願うものは何でも与えられるようにと、私
があなたがたを任命したのである。

ヨハネによる福音書 15章 16節

9月 HAPPY BIRTHDAY

浅羽俊一郎さん 20日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

8月報告

| | | |
|------------|---------------|-------|
| 会員在籍数 | | 11名 |
| 例会出席者 | メ ン | 6名 |
| | メ ネット | 1名 |
| 会員出席率 | | 55% |
| ゲスト・ビジター | | 1名 |
| | | 合計 6名 |
| ニコニコ | 一円(累計 7,150円) | |
| B F 国内切手—g | 外国切手—g | |



東京MC A夏祭り

と き：8月24日（土）11:30-15:30

ところ：東陽町センター

出席者：飯野、尾内、尾内（規） 機能、
中村、 5名

8月例会は昨年に引き続き、東京Yの夏祭り
に参加しました。

会場には例年飾られていた提灯が今年はなくな
りましたが、バンドの演奏や、模擬店の出店は賑
やかでした。

山手の仲間はまず模擬店から飲み物や食べ物
各自に用意して集まり、しばらく雑談しました。

それから再び会場に戻って、他クラブの方々と
挨拶したり、話し込んだり、模擬店を冷かしたり
と、楽しみました。



↓たんぼぼの皆さん



今年は近隣の子供たちが大勢来てくれていた
ようです。東陽町センターがこの地域にあって
ますます発展していくことが期待されます。

(F. K)

9月卓話者ご紹介

利根川 恵子さん

国際基督教大学教育学大学院修了、
県立高校教諭、大宮市教育委員会指導課指導主事を経て、1984年 大宮市教育委員会指導課指導主事、1998年 大宮市市長公室秘書課主幹（国際交流担当）、2000年 さいたま市市民文化部国際交流課主幹、2005年 市教育委員会学校教育部、2016年～現在 市教育委員会ALTコーディネーター、2017年～現在 市立高等看護学院英語講師、2018年～現在 さいたま市ホストタウン・コーディネーター

<ワイズ歴>

1988年11月 川越クラブ・チャーターメンバー
2012-13 関東東部部長、
2016-17 東日本区理事
2017-18～現在 文献・組織検討委員会委員長
2018-20 アジア太平洋地域書記
2019-20 国際協会 IBC 事業主任

<YMCA 関係>

埼玉YMCA 評議員、日本YMCA同盟評議員

<その他>

国際協力NGO・IV-JAPAN 理事

さいたま市国際NGOネットワーク 副代表

あずさ部長 赤羽美栄子さん（松本）の
公式訪問は10月例会時に変更となりました。

8月 ヨルダン会
休会にしました

おたより(1)

<上妻英夫さん> 「晩夏雨 ビル間でミンミンいそぎ鳴き」 夏終りの雨が止んだらビルの間からミンミン蝉が鳴き出す。それも真夏ののんびり鳴きでなく、声高く短く、さも余命が分かっているのか？急いでいる様でした。

.....



「Change!2022 ニュース」をお読み下さい

「Change! 2022」は、ワイズ創立100周年となる2022年をゴールとする東日本区の会員増強運動です。目標とする人数は、1997年に東日本区が発足した時の会員数1246名です。

この目標を達成するために、会員増強に関連するニュースを発信しようと、東日本区では「Change! 2022 ニュース」を毎月15日に発行致します。是非お読みいただき会員増強活動のヒントにしていただければ幸いです。

この《ニュース》を読むことによってお互いに刺激をもらい、与えあうために会員の皆様からも、会員増強に関連する記事の寄稿・投稿をお願いします。

- ・新クラブを立ち上げている
- ・こんな会員の誘い方がある
- ・新入会員の感想
- ・新しい会員増強のヒントど、どのようなテーマでも随時受け付けますので、記事をお寄せください。

記事の送り先は、編集長の下記のアドレスへお願いいたします。

itami@tailor-itami.com

なお、ワイズドットコム、会員全員メール（ロースターに登録のある方）で配信しております。また、東日本区ホームページにも掲載されます。

Change!2022 推進委員会

.....

「東京文京アフタヌーンクラブ」仮例会

サンライズの菰渕さんが、部エクステンション委員長として、新クラブの設立に向けて奮闘中です。応援をどうぞよろしく申し上げます。

<9月仮例会のお知らせです>

東京文京アフタヌーンクラブ 第14回仮例会

時:9月5日(木)14:00~16:00

所:文京区向丘文京区向丘地域支援センター「アカデミー向丘」3階B会議室

<松本竹広さん> 8月ブリテンにあるYMCAニュースの平和のパネル展ですが、パネルにある写真の一つにYMCAのロゴワッペン？をつけた男性の写真を、沖さんが大発見しました。この方は、河本一郎さん（YMCA会員）という方で、原爆で亡くなった佐々木禎子さんや子どもたちのために、その霊を慰めるための像を造る目的で募金活動を始めたようです。（ビラ配りもしたようです）先月の例会の議題にあった「会員の働きを中心に」の参考まで。

河本一郎さんをネットで検索すると、多数ヒットします。

<https://www.hju.ac.jp/news/2019/05/post-142.php>

D

ご参考まで。

<沖 利柯さん> ブリテン有難うございます。またYMCAの会員活動について活発な意見交換をしていただいたこと有難うございました。

私は広島出身であり、入職した広島YMCAが平和運動にずっと力を入れてきており、それなりの発信力をもって地域を動かしていたことを知っています。

昨年度から東陽町コミュニティーセンターで始めた平和展ですが、今夏、平和記念資料館から借用した佐々木禎子さんのポスター展を開催する中で、一枚のポスターにYMCAのマークに似たワッペンをつけたジャケットを着用している若者が募金活動をしている姿を見つけました。同じ部署の若いスタッフの木村さんに「YMCAじゃない??、そうだったら感動だね」と話していました。

東陽町コミュニティーセンターでは野外活動を行っていないので、若いボランティアリーダーがいませんが、なんとか社会やボランティアに目を向けた若者のグループを作りたいと、今広島で行われている、広島YMCA国際青少年平和セミナーに木村さんともう一人青年を派遣しています。その木村さんから、やっぱりあの人はYMCAの会員でしたと、広島から記事を送っていただきました。

YMCAの会員の力は社会を動かしていくことができるということを再認識しています。この歴史や伝統を守りながら、今私たちにできることに積極的に取り組み地域や社会を動かしていける団体でありたいと願っています。

ネットで「河本一郎 広島」を検索するとたくさんヒットします。

1. “A Global Youth Event YMCA 175”

イギリス・ロンドンでYMCAが誕生して今年175年になることを記念し、8月4日～8日、ヨーロッパYMCA同盟の主催により“A Global Youth Event YMCA 175”がロンドンにて開催され、世界約100カ国のYMCAから約3,000名が集った。東京YMCAからはスタッフの藤原聖帆（高等学院）と松本数実（国際統括）が参加した。

期間中は、基調講演、ディスカッション、ワークショップ等が行われ、SDGsなど世界の様々な課題について学びを深め、未来に向けたYMCAリーダーシップの育成がはかられた。

2. 第10回キッズワールドカップ in 韓国

8月5日～9日、東京YMCAとパートナーシップ関係にあるソウルYMCAの主管により、「第10回キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAのキャンプ場にて開催された。

アジアを中心に4カ国のYMCAが招待され、東京YMCAから8名（江東コミュニティーセンターサッカークラス所属の小学生6名とインターナショナルスクールの児童2名）に加え、国際委員の神保伊和雄氏、及び引率スタッフとして米澤竜彦（江東コミュニティーセンター）と惟村早紀（インターナショナルスクール）が参加した。

アジア各国の子どもたちは国を越えてサッカー試合や懇親プログラムを通して交流を深めた。東京YMCAチームは3位に入賞した。

3. 今後の予定（山手）

9月14日（土） 国際協力募金@新宿駅周辺

9月23日（月、祝） チャリティーラン

10月27日（日） 山手バザー（秋まつり）

12月1日（日） 山手クリスマス

（星住秀一）



テサロニキ YMCA の難民支援事業 に学ぶ

浅羽俊一郎

7月下旬からジュネーブに来ていて、8月末に帰国する前にテサロニキ YMCA の難民事業を確認したいと、19日～22日の3泊4日のスケジュールで行ってきました。実質的に中2日だけというタイトスケジュール。むしろ目的がはっきりしてほぼ無駄なく要領よく見るべきものは見ました。なお、テサロニキ YMCA 訪問は今回で3度目です。

さて20日朝、リサさん（元会社経営者。10年前に一念発起 YMCA 職員になり、現在は世界同盟の現地駐在の難民担当。プログラム全般と渉外、さらに今は他 YMCA の難民事業についても情報蒐集）の車で YMCA へ。近くのカフェでヴァシリオス総主事、リサ、ドロレス（ディア・ドラシス担当、後出）と4人で意見交換。2010年に始まった国の財政危機はじき10年になるが、YMCA はそもそも苦しい財政の中で職員は給与が減り、不定期支給、その上所得税が75%。苦勞していること想像に難くない。プログラム担当（専門職）の場合一日4時間のパートで月々350ユーロ（約45,000円）。

この日は REACT のプロジェクトのサマー・スクールを見学した。普段より人数は少なかったが、子ども達は教室で単語当てゲームに興じていた。他に YMCA のグラウンド、体育館、プールでも楽しんでいる。REACT は UNHCR からの資金をもとに政府が市内に分散して住宅を提供し、長期滞在家族を対象にした事業だが、登録民間団体ごとに医療、教育など得意分野でプログラムを提供する。YMCA

は子ども達への社会教育。2016年に始まって以来1700人が登録している。今直面している大きな課題はここにきて政府が難民に住宅からの立ち退き期限を提示し出したことで行き場のない難民が増えることだ。2015年にはシリア難民が多かったが、今は他にクルド、トルコ、アフガンもいる。子ども達に話しかけたかったが、職員から質問内容についてとにかく過去の悲惨を思い出させないでほしい、と釘を刺され諦めた。

なお8月初めに REACT は初めて親の同伴無しの4泊5日キャンプを実施。それまでも親子日帰りキャンプはやっていましたが、ようやく本来の Y キャンプが実現。ディレクターから親に対して、キャンプ中は子供の携帯に電話しないこと、心配ならば職員に問い合わせるよう指示が出され、不安だったらしいが返ってきた子供たちの変わりように親は大喜びだった。日本の YMCA が被災した子供たち対象のリフレッシュキャンプと同じだ。

テサロニキ市は歴史的にも南東ヨーロッパへの一大通過都市だけあり多国籍。住民も祖先が異邦人が多いことで、外国人には寛容だが、国籍・民族毎に集落が出来ないように出来るだけ地元の人たちと混ざって生活させる政策をとっている。その行政の政策に符合するように YMCA が昨秋始めたのが DIA Drasis（ディア・ドラシス）英語の直訳は Interaction。21日は YMCA から徒歩10分、政府が提供してくれたビルの2階にある教室を訪ねる。夏休みでプログラムはなかったが、その分先生方とじっくり2時間話し合えた。

毎週午前中は幼児を対象に小学校就学に備えるための活動を提供する。レクリエーションや創作活動を通してギリシャ語、グループ活動を身に着ける。午後のクラスはドラマ、自然科学、美術など専門の先生が指導する。子ども達も教師も多言語で授業をする。子どもは母語、ギリシャ語の他にクラスメイトの使う簡単な言葉を知らないうちに真似し出す。異言語に対する違和感がなくなるそうだ。授業の方針としては「子供だけでなく家族も巻き込む」「目標は高くしない」初めは目を合わせようとしないうちに通って一週間もしないうちに元気になり、クラスに来るのが待ち遠しい。それはお母さん方も同じで隣の待合室では難民同

士、地元の人も参加し、週一回の家族ぐるみのイベントを企画するまでになった。今では仲良くなった市民・難民が外でも交流し始めているそうだ。このプログラムはソロス財団からの資金援助で成り立っているが、教室中にある家具、洗濯機、教材などすべて市民や企業から無料提供されたもの。この多言語で話させる手法は**Translanguaging**というそうだが、ディア・ドラシスはその実践例として、近々研究論文として発表する予定だそうだ。先生方は当初は分からないことだらけだったが、チーム内で話し合いながら中身を充実させてきた。ここでドラマ指導をしているイラン難民のマヤはそもそもプロの劇演出家。いきなり子どもが相手では最初はまごついたが、今は楽しくてたまらない。これだけ人気と需要のあるプログラムだが、問題は先立つもの。来年5月末で2年目を修了するべきところ、1月には資金が底を着くそうだ。YMCAの広報・募金戦略が早急に求められる。

余談になるが先生方から意外なことを聞いた。欧州連合の様々な基準にギリシャも合わせているが、子どもへの対応の仕方一つとっても代々伝わってきた所作が禁止された、と言って例として挙げたのが今まで先生が泣いている子供を膝の上であやすことが禁止され、背中に手を添えて向き合って語りかけねばならなくなった、と。

また、子どもの顔写真をYMCA 広報に使うについては親から文書で承諾を得ているとのことだった。私の撮った写真もそれで掲載が許可された次第。他方、YMCA はLGBT についての明確な方針はまだ出来てない。

この夏も香港 YMCA の大学生が REACT で2か月間ボランティアしたが、英語が通じるから問題なかった。日本の若者が海外に長期滞在できない現状を思うとうらやましい限りだ。

報告はここまで。観光しなかったと言えようそになる。ディア・ドラシスから YMCA への帰途、世界遺産のハギア・ソフィア聖堂を5分ほど覗くことが出来た。

2日間職員と昼食をともにしたが、地元料理はスイスの料理などより口に合い、その上話題はプログラムの他、歴史、文化、政治、宗教と尽きることがなかった。今世界の YMCA がオルターナティブ・ツーリズムを推奨しているが、私の難民視察もそのような一つだったかもしれない。飽きずに相手してくれた職員の皆さんにはただただ感謝あるのみです。



ジュネーブでは UNHCR 本部に顔を出し、サラエボ時代の同僚と話して知ったことだが、ドイツが数年前に大量のシリア難民を受け入れて国内問題に発展したが、結局 EU からの資金援助もあって難民現象は地域社会に解消されたそうです。個別の難民問題は別として、大きな受け入れ体制は国・地方・民間の各レベルで整ったのでしょうか。このことは他の欧州諸国にも言えると思います。当時私はこの件で感想を聞かれると、日本の難民政策が敷居を高くすることで済ましているのに比べて、欧州諸国は難民ラッシュに果敢に取り組むことで新たなグローバルな枠組みを作っていくだろう、と返事していました。難民問題は現在進行形。これから政策がどう変わるかも分かりませんが、経験知を蓄えた市民は自分たちの問題として向き合うようになると思います。

*フェイスブックで“Dia drasis”を検索すると活動の写真と解説が見られます。